

3月11日以来、東日本大震災の報道に接するたび、あまりの惨状に涙が止まりません。被災者の方々には掛ける言葉も見つかりません。

元気を取り戻して一日でも早い復興を願うのみです。あまり報道はされていませんが、歯科医師による支援も広く行われています。

遺体の身元確認には、多くの歯科医師が参加しています。私も小牧の中華航空機事故の折、経験しましたが大変なご苦労があると思います。

水不足により歯が充分磨けないためもあり、誤嚥性肺炎をおこす方が増えているようです。歯科医と歯科衛生士がペアになって、避難所を回り口腔ケアの活動をされています。

NPO法人「日本むし歯予防フッ素推進会議」のメンバーがフッ化物配布やフッ素塗布の活動をされています。歯科診療のため、愛知県歯科医師会から歯科診療車が寄贈されました。等等。

当院も、できるだけの支援をさせていただきます。

以下はツイッター上で投稿された、つぶやきや応援メッセージです。本にもなったそうです。

2歳の息子が独りでシューズを履いて外に出ようとしていた。「地震を逮捕しに行く！」とのこと。

小さな体に宿る勇気と正義感に力をもらう。

みなさん、気持ちを強く持って頑張りましょう。

NHKの男性アナウンサーが被災状況や現況を淡々と読み上げる中、「ストレスで母乳が出なくなった母親が夜通しスーパーの開店待ちの列に並んでミルクが手に入った」と紹介後、絶句、

沈黙が流れ、放送事故のようになった。

すぐに立ち直ったけど泣いているのがわかった。

目頭が熱くなった。

ぜんぜん眠っていないであろう旦那に、

「大丈夫？無理しないで。」とメールしたら、

「自衛隊なめんなよ。今無理しないでいつ無理するんだ？言葉に気をつけろ。」と返事が。

彼らはタフだ。肉体も、精神も。

駅員さんに「昨日一生懸命電車を走らせてくれてありがとう」って言ってる小さい子達を見た。

駅員さん泣いてた。俺は号泣してた。

父が明日、福島原発の応援に派遣されます。

半年後定年を迎える父が自ら志願したと聞き、涙が出そうになりました。「今の対応次第で原発の未来が変わる。使命感を持っていく。」

家では頼りなく感じる父ですが、私は今日程誇りに思ったことはありません。無事の帰宅を祈ります。

亡くなった母が言っていた言葉を思い出す。

「人は奪い合えば足りないが分け合うと余る」

被災者で実践されていた、この国の東北関東地震被災者の方々を、日本を、誇りに思います。

頑張ってください。

子供がお菓子を持ってレジに並んでいたけれど、

順番が近くなり、レジを見て考え込み、

レジ横にあった募金箱にお金を入れて、

お菓子を棚に戻して出て行きました。

店員さんがその子供の背中に向けてかけた「ありがとうございます」という声が、震えてました。

一回の青信号で1台しか前に進めないなんてザラだったけど、誰もが譲り合い穏やかに運転している姿に感動した。複雑な交差点で交通が5分以上完全マヒするシーンもあったけど、10時間の間お礼以外のクラクションの音を耳にしなかった。

恐怖と同時に心温まる時間で、日本がますます好きになった。

4時間の道のりを歩いて帰るときに、トイレのご利用どうぞ！と書いたスケッチブックを持って自宅のお手洗いを開放していた女性がいた。

日本って、やはり世界一温かい国だよな。

あれみた時は感動して泣けてきた。

物が散乱しているスーパーで、落ちているものを律儀に拾い、そして列に黙って並んでお金を払って買い物をする。運転再開した電車で混んでるのに妊婦に席を譲るお年寄り。この光景を見て外国人は絶句したようだ。本当だろう、この話。すごいよ日本。

M9.0 世界最大級となったのか。

じゃ、今後復興のためのエネルギーも愛も、世界最大級にしなくちゃ。